預言者のシャマーイル

シリーズ 1

誰よりも美しい方

預言者 ﷺ のシャマーイル（ティルミズィー第 1〜7 章）：容姿、預言者性の印、髪、白髪、染髪、コール



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranDanSains
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売はできません。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

預言者のシャマーイル

シリーズ 1

誰よりも美しい方

預言者 ﷺ のシャマーイル（ティルミズィー第 1〜7 章）：容姿、預言者性の印、髪、白髪、染髪、コール

لَقَدْ مَنَّ ٱللَّهُ عَلَى ٱلْمُؤْمِنِينَ إِذْ بَعَثَ فِيهِمْ رَسُولًا مِّنْ أَنفُسِهِمْ يَتْلُوا۟ عَلَيْهِمْ ءَايَٰتِهِۦ وَيُزَكِّيهِمْ وَيُعَلِّمُهُمُ ٱلْكِتَٰبَ وَٱلْحِكْمَةَ وَإِن كَانُوا۟ مِن قَبْلُ لَفِى ضَلَٰلٍ مُّبِينٍ

“本当にアッラーは，信者たちに対して豊かに恵みを授けられ，かれらの中から，一人の使徒をあげて，啓示をかれらに読誦させ，かれらを清め，また啓典と英知を教えられた。これまでかれらは明らかに迷い誤の中にいたのである。”

イムラーン家章 3:164

Hj Che Alim Hj Che Haron

quranscience.my | @QuranDanSains

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売はできません。

謝辞

信仰者たちに、彼ら自身の中から一人の使徒を遣わして恵みを授け、その使徒を姿においても人格においても最も完全な人とされたアッラーに、すべての称賛あれ。われらの主人である預言者ムハンマド ﷺ と、そのご家族、そして彼に関するあらゆる細部をこのウンマのために守り伝えた教友たちの上に、祝福と平安あれ。

この電子書籍を、愛する妻

Zaharah Mohd Latif、

愛する子どもたち

Muhammad Hafiz, Noor Hazwani, Abdul Hakim, Noor Hidayah, Nor Aqila と **Nor Atiqah**、

そして義理の息子・娘たち

Fazilah, Malek, Hanin, Fairizal と **Firwan** に捧げます。

『預言者のシャマーイル』の第一巻である本書は、イマーム・ティルミズィーの『シャマーイル・ムハンマディーヤ』の章立てに従い、第 1 章から第 7 章までを扱う。すなわち、容姿、預言者性の印、髪、髪の手入れ、白髪、染髪、コール（目墨）である。各ハディースの判定を明記し、信頼できる伝承を通して彼を知ることができるよう努めた。

表紙について

本書の表紙には、人間も動物も描かれていない。描かれているのは、**静かな砂丘**に降りそそぐ**金色の夜明けの光**と、手前の小さな砂漠の花に宿る朝露である。

教友たちはアッラーの使徒 ﷺ を、**「私は彼より美しいものを見たことがない」**（『シャマーイル』3）といった言葉で描写した。目を傷める強い光ではなく、穏やかで心を落ち着かせる夜明けの美しさは、彼を見たすべての人が感じた美しさを思い起こさせる。私たちは彼の姿を描かない。私たちは**彼を見た人々の言葉**を通してのみ、彼を知るのである。

下部の**紺色の帯**は**細い金の線**に縁取られ、そこに著者名が記されている。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

誰よりも美しい方 — はじめに

1. 『シャマーイル』を知る — イマーム・ティルミズィー

2. イマーム・ティルミズィー — 伝記資料

3. 本シリーズの方法 — ハディースの判定

4. 第 1 章：そのお姿 — 『シャマーイル』1〜15

5. 高すぎず、低すぎず — 『シャマーイル』1

6. 中背で堂々とした方 — 『シャマーイル』2〜4

7. アリー・イブン・アビー・ターリブの描写 — 『シャマーイル』5、7

8. ヒンド・イブン・アビー・ハーラのハディース — 『シャマーイル』8

9. 口、目、かかと — 『シャマーイル』9

10. 「いいえ、むしろ月のよう」 — 『シャマーイル』10〜11

11. 銀で形づくられたかのよう — 『シャマーイル』12、14、15

12. 示された預言者たち — 『シャマーイル』13

13. 第 2 章：預言者性の印 — 『シャマーイル』16〜23

14. 天蓋のボタンのよう — 『シャマーイル』16〜19

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

15.「毛の房」 — 『シャマーイル』20、22

16. サルマーン・ファーリスィーと印 — 『シャマーイル』21

17.「あなたにも」 — 『シャマーイル』23、ムハンマド章 47:19

18. 第 3 章：その髪 — 『シャマーイル』24〜27、29

19. 垂らし、そして分ける — 『シャマーイル』30

20. マッカでの四つの編み髪 — 『シャマーイル』28、31

21. 第 4 章：髪の手入れ — 『シャマーイル』32

22. 右から始める — 『シャマーイル』34

23. 身だしなみに凝りすぎない — 『シャマーイル』33、35、36

24. 第 5 章：その白髪 — 『シャマーイル』37〜40、44

25.「フード章とその姉妹章」 — 『シャマーイル』41〜42、フード章 11:112

26. 第 6 章：染髪 — 『シャマーイル』43、45〜49

27. 第 7 章：コール（目墨） — 『シャマーイル』50〜54

28. 教訓と結び — 表

参考文献

支援と寄付

色の案内：緑の枠＝クルアーンの節、金色の枠＝ハディース、茶色の枠＝注（弱い伝承または補足説明）、青い表＝比較。青い下線付きの伝承者名をクリックすると、sunnah.com のその伝承者のページが開きます。

誰よりも美しい方

この新しいシリーズは、シリーズ『**預言者のスィーラ（生涯）**』の続編である。スィーラがアッラーの使徒 ﷺ の誕生から逝去までの**人生の歩み**をたどったのに対し、本シリーズ『**預言者 ﷺ のシャマーイル**』は、彼の容姿、衣服、食事、言葉、崇拝、人柄といった**彼ご自身により近づく**ことを目指す。章立ては、非常に有名な一冊の書物、すなわち**イマーム・ティルミズィー**の『**シャマーイル・ムハンマディーヤ**』に従う。

この第一巻は同書の**第 1 章から第 7 章**、すなわちそのお姿、預言者性の印、髪、髪の手入れ、白髪、染髪、コール（目墨）を扱い、合わせて **53 の伝承**を含む。サヒーフ（真正）とハサン（良好）の伝承はハディースの枠で紹介し、ダイーフ（弱い）伝承は注の枠で説明する。

なぜ彼の容姿を知るのか。それは**愛は知ることから生まれる**からである。彼を見た教友たちはあらゆる細部を守り伝えた。後の世代、そして私たちもまた、彼らの言葉を通して彼を知ることができるように。

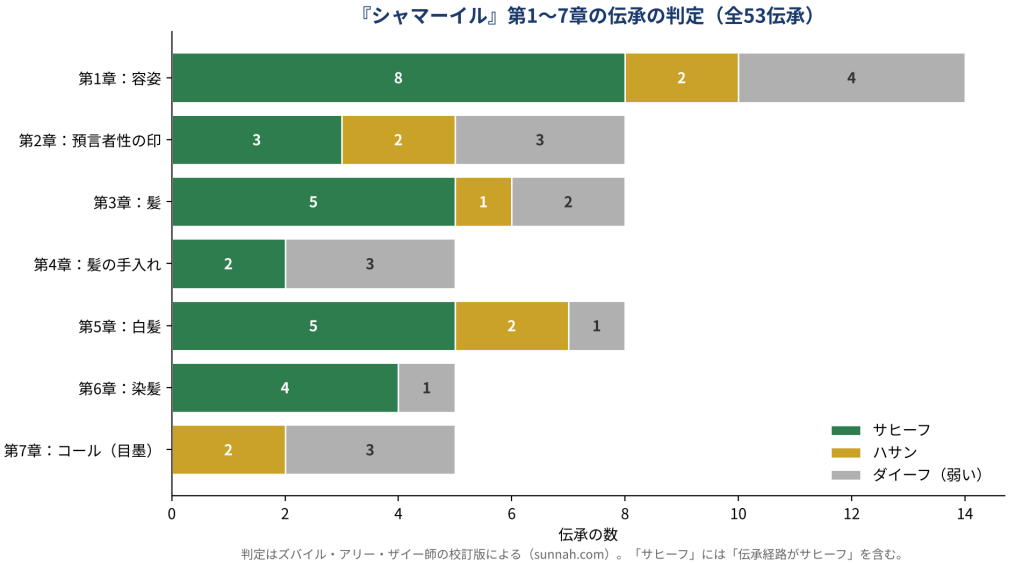


図 1：『シャマーイル』第 1〜7 章の伝承の判定。

注：本書のクルアーンの日本語訳は三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』による。各ハディースの判定は、sunnah.com に示されたズバイル・アリー・ザイー師の校訂版に基づき、それぞれの枠に記した。

アッラーの使徒 ﷺ への敬意から、そのお姿は言葉のみで伝え、絵は一切用いない。ハディースと本文の日本語訳は著者側で作成したものであり、表現の誤りにお気づきの方はご指摘いただければ幸いである。

『シャマーイル』を知る

シャマーイルという語は**シマール**の複数形で、性質、気質、ふるまいを意味する。ハディース学者の用語では、『**シャマーイル**』とは、アッラーの使徒 ﷺ の**身体的特徴と人柄**、そして日常生活におけるふるまいや習慣についての伝承を集めた分野を指す。

『**シャマーイル・ムハンマディーヤ**』は、この分野で最も有名な書物である。イマーム・ティルミズィーはこれを **56 の章**に分け、彼の容姿から始めて、夢で彼を見ることについての章で締めくくった。完全な伝承経路を備えた伝承は **400 を超える**。

この書は多くの学者によって注釈されてきた。ムッラー・アリー・カーリーの『**ジャムウ・ル＝ワサーイル**』や、シャイフ・イブラーヒーム・バージューリーの『**マワーヒブ・ラドゥニーヤ**』などである。近代では、シャイフ・ナースィルッディーン・アルバーニーが弱い伝承を除いて『**ムフタサル・シャマーイル**』に要約し、シャイフ・ズバイル・アリー・ザイーがすべての伝承経路を判定した。

マレー世界でもこの書はよく知られ、特にバージューリーの注釈を通して、ポンドック（伝統的な寄宿学校）やモスクで教えられている。これを学ぶことは、アッラーの使徒 ﷺ への**愛を心の中で生き生きとさせる**一つの道である。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

イマーム・ティルミズィー

彼の正式な名は**アブー・イーサー・ムハンマド・イブン・イーサー・イブン・サウラ・ティルミズィー**である。ヒジュラ暦 **209 年**ごろ、ジャイフーン川（アムダリヤ川）のほとりの町ティルミズの近く、現在の**ウズベキスタン**に生まれた。

彼はハディースを求めてホラーサーン、イラク、ヒジャーズを旅し、**イマーム・ブハーリー**、**イマーム・ムスリム**、**イマーム・アブー・ダーウード**といった偉大なイマームたちに学んだ。彼はブハーリーの最も近しい弟子であり、伝承者やハディースについての師の判断をしばしば引用した。

彼の最大の著作は、六大ハディース集の一つである『**ジャーミウ**』（『スナン・ティルミズィー』）である。ほかに『**シャマーイル・ムハンマディーヤ**』や『**イラル**』も著した。晩年には盲目となり、ヒジュラ暦 **279 年**に亡くなった。

> **注：ブハーリーによる弟子への賞賛**
>
> ザハビーによれば、イマーム・ブハーリーはあるときティルミズィーにこう言った。「私があなたから得た益は、あなたが私から得た益よりも多い。」この言葉は、師のもとでのティルミズィーの優秀さと地位を示している。ただし、これは詳しく検証された伝承経路ではなく、伝記資料を通して伝えられたものである。
>
> **出典：**
> ザハビー『スィヤル・アアラーム・ヌバラーゥ』（ティルミズィーの伝記）、イブン・ハジャル『タフズィーブ・タフズィーブ』。

イマーム・ティルミズィーはまた、アッラーへの畏れから**敬虔で、よく涙を流す人**として知られていた。ザハビーによれば、彼は涙を流し続け、晩年には盲目になったという。豊かな学識は彼を高慢にせず、かえってアッラーへの畏れを深めたのである。

本シリーズの方法

『シャマーイル』には**さまざまな判定**の伝承が含まれている。イマーム・ティルミズィーは、当時のハディース学者たちと同様に、読者が自ら判断できるよう完全な伝承経路とともに伝えた。そのため、その伝承にはサヒーフのもの、ハサンのもの、そしてダイーフ（弱い）ものがある。

本シリーズでは三つの原則を守る。（1）**サヒーフとハサン**の伝承は、リンク付きの伝承経路とともにハディースの枠で紹介する。（2）**ダイーフ**の伝承は注の枠で説明し、その意味が他のサヒーフな伝承によって支えられている場合はそのことを記す。（3）各伝承の判定を明確に記す。

用いる判定は、sunnah.com に示された**シャイフ・ズバイル・アリー・ザイー**のものであり、見解が異なる場合にはシャイフ・アルバーニーの判定にも触れる。ハディース学者の間の見解の違いはごく普通のことであり、それはスンナを守る彼らの**細心さ**を示している。

図 1 が示すように、第 1〜7 章の 53 の伝承のうち、およそ **3 分の 2** がサヒーフまたはハサンである。つまり、アッラーの使徒 ﷺ の容姿の基本的な姿は、**確かな伝承**を通して私たちに届いているのである。

この方法は、預言者 ﷺ の次の警告に沿うものである。「偽りと知りながら私についてハディースを語る者は、嘘つきの一人である」（『サヒーフ・ムスリム』序文）。だからこそ、彼に何かを帰するときには慎重でなければならない。

第 1 章：そのお姿

『シャマーイル』の第 1 章は「**アッラーの使徒 ﷺ のお姿について伝えられたこと**」と題されている。そこには、彼を自分の目で見た教友たち、すなわちアナス・イブン・マーリク、バラーゥ・イブン・アーズィブ、アリー・イブン・アビー・ターリブ、ジャービル・イブン・サムラ、アブー・フライラ、ジャービル・イブン・アブドゥッラー、アブー・トゥファイルらによる 14 の伝承が収められている（アッラーが彼らに満悦されますように）。

これらの教友たちは画家ではなかったが、言葉にはきわめて正確であった。彼らはアラブ人に分かる比喩、すなわち**月、銀、剣**を用い、あらゆる特徴を的確な語で名指した。後の学者たちは、これらの語を一つ一つ説明した。

教友たちは皆、単なる観察ではなく**愛**をもって彼を描写した。彼を深く愛していたからこそ、あらゆる細部を覚えていたのである。そしてその愛が、これらの伝承を私たちのもとまで守り届けた。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

高すぎず、低すぎず

『シャマーイル』の最初の伝承は、十年間アッラーの使徒 ﷺ に仕えた**アナス・イブン・マーリク** رضى الله عنه によるものである。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 1 番

حَدَّثَنَا أَبُو رَجَاءٍ قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، عَنْ مَالِكِ بْنِ أَنَسٍ، عَنْ رَبِيعَةَ بْنِ أَبِي عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، أَنَّهُ سَمِعَهُ، يَقُولُ: كَانَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، لَيْسَ بِالطَّوِيلِ الْبَائِنِ، وَلاَ بِالْقَصِيرِ، وَلاَ بِالأَبْيَضِ الأَمْهَقِ، وَلاَ بِالآدَمِ، وَلاَ بِالْجَعْدِ الْقَطَطِ، وَلاَ بِالسَّبْطِ، بَعَثَهُ اللَّهُ تَعَالَى عَلَى رَأْسِ أَرْبَعِينَ سَنَةً، فَأَقَامَ بِمَكَّةَ عَشْرَ سِنِينَ، وَبِالْمَدِينَةِ عَشْرَ سِنِينَ، وَتَوَفَّاهُ اللَّهُ تَعَالَى عَلَى رَأْسِ سِتِّينَ سَنَةً، وَلَيْسَ فِي رَأْسِهِ وَلِحْيَتِهِ عِشْرُونَ شَعَرَةً بَيْضَاءَ.

日本語訳：

アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ は、背が高すぎることも低すぎることもなく、青白い白さでも浅黒さでもなく、髪は強く縮れてもおらず、まっすぐでもなかった。**至高なるアッラーは彼を四十歳で遣わされた。彼はマッカに十年、マディーナに十年とどまり、アッラーは彼を六十歳で召された。**そのとき頭とあごひげの白髪は二十本にも満たなかった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブー・ラジャーゥ・クタイバ・イブン・サイード ← マーリク・イブン・アナス ← ラビーア・イブン・アビー・アブドゥッラフマーン ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 1 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 3547 番、『サヒーフ・ムスリム』第 2347 番にもある。

判定： サヒーフ（真正）な伝承経路 ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。同じ意味の伝承は『サヒーフ・ブハーリー』と『サヒーフ・ムスリム』にもある。

ソース：https://sunnah.com/shamail:1

このハディースからの教訓

アナスは「〜すぎず、〜すぎず」という言い方を用いた。まるで彼のそれぞれの特徴が**最も均衡のとれた中間点**に立っているかのようである。学者たちは、この身体の均衡が彼の教えの均衡、すなわち極端にも怠慢にも偏らないことを映していると指摘する。

このハディースはまた、預言者としての**年表**を要約している。四十歳で遣わされ、マッカとマディーナで暮らし、六十歳ほどで亡くなった。より正確な伝承によれば、彼はマッカに 13 年住み、63 歳で亡くなった。学者たちは、アナスが端数を数えずに概数を述べたのだと説明する。

そして、とても個人的な細部に注目してほしい。**白髪は二十本にも満たなかった。**毎日彼に仕えたアナスのように、ごく身近な人でなければ、これほど細かいことは知りえない。白髪については第 5 章で再び取り上げる。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

中背で堂々とした方

続く伝承はアナスの描写を裏付けている。第二の伝承でアナスはこう言った。「アッラーの使徒 ﷺ は**中背**で、高くも低くもなく、**体格がよく**、髪は縮れてもまっすぐでもなく、肌は小麦色であった。**歩くときは、しっかりとした足取りで歩かれた**」（『シャマーイル』2）— サヒーフ。

バラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما は言った。「アッラーの使徒 ﷺ は中背の人で、**肩幅が広く**、豊かな髪は耳たぶに届き、赤い衣をまとっておられた。**私は彼より美しいものを見たことがない**」（『シャマーイル』3）— 伝承経路はサヒーフ。

別の伝承では彼はこう言った。「赤い衣をまとった長髪の人で、**アッラーの使徒 ﷺ より美しい人を私は見たことがない**」（『シャマーイル』4）— サヒーフ。本書の題名『**誰よりも美しい方**』は、このバラーゥの言葉から取ったものである。

> **注：赤い衣について**
>
> 学者たちは、彼がまとった「赤いフッラ」は全体が赤いのではなく、**赤い縞模様**、すなわち赤い線の入ったイエメン産の布であったと説明する。衣服については第二巻（衣服の章）で改めて述べる。
>
> **出典：**
> イブン・ハジャル『ファトフ・ル＝バーリー』、イブン・カイイム『ザード・ル＝マアード』衣服の章。

アリー・イブン・アビー・ターリブの描写

彼の従弟であり娘婿でもあり、彼の家で育ったアリー・イブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه は、さらに詳しい描写を伝えている。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 5 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ إِسْمَاعِيلَ، قَالَ: حَدَّثَنَا أَبُو نُعَيْمٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا الْمَسْعُودِيُّ، عَنْ عُثْمَانَ بْنِ مُسْلِمِ بْنِ هُرْمُزَ، عَنْ نَافِعِ بْنِ جُبَيْرِ بْنِ مُطْعِمٍ، عَنْ عَلِيِّ بْنِ أَبِي طَالِبٍ، قَالَ: لَمْ يَكُنِ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم بِالطَّوِيلِ، وَلا بِالْقَصِيرِ، شَثْنُ الْكَفَّيْنِ وَالْقَدَمَيْنِ، ضَخْمُ الرَّأْسِ، ضَخْمُ الْكَرَادِيسِ، طَوِيلُ الْمَسْرُبَةِ، إِذَا مَشَى تَكَفَّأَ تَكَفُّؤًا، كَأَنَّمَا يَنْحَطُّ مِنْ صَبَبٍ، لَمْ أَرَ قَبْلَهُ، وَلا بَعْدَهُ مِثْلَهُ، صلى الله عليه وسلم.

日本語訳：

アリー・イブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه は言った。「**預言者 ﷺ は背が高くも低くもなかった。手のひらと足は厚く、しっかりしていた。頭は大きく、関節も大きかった。胸からへそにかけての毛の筋は長かった。歩くときは、坂を下るかのように前かがみになった。彼の前にも後にも、彼のような人を私は見たことがない ﷺ。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・イスマーイール（ブハーリー）← アブー・ヌアイム・ファドル・イブン・ドゥカイン ← マスウーディー ← ウスマーン・イブン・ムスリム・イブン・フルムズ ← ナーフィウ・イブン・ジュバイル・イブン・ムトイム ← アリー・イブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 5 番に収録。『ジャーミウ・ティルミズィー』第 3637 番（ハサン・サヒーフ）にもある。

判定： ハサン（良好）な伝承経路 ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ティルミズィーは『ジャーミウ』で「ハサン・サヒーフ」と判定した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:5

このハディースからの教訓

アリーの描写は**力強さ**を強調している。しっかりした手足、大きな関節。彼は身体的に弱い人ではなかった。塹壕を掘り、バドルとウフドで戦い、長い距離を歩いた。**坂を下るかのように前かがみになる**その歩き方は、怠惰でも尊大でもない、活力に満ちた目的ある足取りを示している。

注：アリーの長い伝承（『シャマーイル』7）

ティルミズィーは、アリーの孫であるイブラーヒーム・イブン・ムハンマドを通して、アリーによるより長い描写も伝えている。そこにはこうある。お顔はやや丸く、白く赤みを帯び、瞳は深く黒く、まつ毛は長かった。「**不意に彼を見た者は畏敬の念に打たれ、彼と親しくなった者は彼を愛した。**」

この伝承の伝承経路は、イブラーヒーム・イブン・ムハンマドとアリーの間が途切れているため**ダイーフ**である。とはいえ、その内容の大部分は、この章の他のサヒーフな伝承によって支えられている。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 7 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:7

ヒンド・イブン・アビー・ハーラのハディース

この章で最も長い伝承は**ハサン・イブン・アリー** رضى الله عنهما によるものである。彼はおじの**ヒンド・イブン・アビー・ハーラ**に、アッラーの使徒 ﷺ の容姿について尋ねた。ヒンドは彼の継子（ハディージャの前夫との子）で、描写の巧みさで知られていた。

注：ヒンド・イブン・アビー・ハーラのハディース（『シャマーイル』8）

ヒンドの描写には次のようなものがある。**お顔は満月の夜の月のように輝いていた。**額は広く、眉は弓なりで離れており、その間には怒ると浮き上がる血管があった。あごひげは濃く、首は銀で彫られた像の首のようであった。胸は広く、足の裏はなめらかで水がたまらなかった。

そのふるまいについてはこうある。**「彼はよく目を伏せ、空よりも地面を見ている時間のほうが長かった。教友たちの後ろを歩き、出会う人には自分から先に挨拶された。」**

この伝承の伝承経路には素性の知られない伝承者（タミーム族の一人の男）が含まれるため**ダイーフ**である。それでも非常に有名であり、その内容の多くはサヒーフな伝承と一致している。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 8 番 — 伝承経路はダイーフ（ズバイル・アリー・ザイー）。 https://sunnah.com/shamail:8

この伝承からは**知識を求める作法**も学ぶことができる。孫であるハサンは、より詳しく知る人に尋ねた。彼は言った。「私がしっかりと心に留めておけるようなことを描写してほしかったのです。」教友たちの後の世代は彼を慕い、彼を見た人々を通して彼を知ろうと努めたのである。

口、目、かかと

ジャービル・イブン・サムラ رضى الله عنهما は、三つの特徴をごく簡潔な言葉で描写した。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 9 番

حَدَّثَنَا أَبُو مُوسَى مُحَمَّدُ بْنُ الْمُثَنَّى، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ جَعْفَرٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ سِمَاكِ بْنِ حَرْبٍ، قَالَ: سَمِعْتُ جَابِرَ بْنَ سَمُرَةَ، يَقُولُ: كَانَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم ضَلِيعَ الْفَمِ، أَشْكَلَ الْعَيْنِ، مَنْهُوسَ الْعَقِبِ.

日本語訳：

スィマーク・イブン・ハルブは言った。私はジャービル・イブン・サムラ رضى الله عنهما がこう言うのを聞いた。「**アッラーの使徒 ﷺ は、ダリーウ・ル＝ファム（口が大きく）、アシュカル・ル＝アイン（目の切れ長が長く）、マンフース・ル＝アキブ（かかとの肉が少ない）方であった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブー・ムーサー・ムハンマド・イブン・ムサンナー ← ムハンマド・イブン・ジャアファル（グンダル） ← シュウバ・イブン・ハッジャージュ ← スィマーク・イブン・ハルブ ← ジャービル・イブン・サムラ رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 9 番に収録。『サヒーフ・ムスリム』第 2339 番にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ムスリムも『サヒーフ』に収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:9

このハディースからの教訓

この伝承の中で、伝承者シュウバは師のスィマークに各語の意味を尋ね、スィマークはこう説明した。**ダリーウ・ル＝ファム**は口が大きいこと、**アシュカル・ル＝アイン**は目の切れ長が長いこと、**マンフース・ル＝アキブ**はかかとの肉が少ないこと

である。アラブ人にとって、大きな口は**雄弁**のしるしであり、切れ長の目は美しさのしるしであった。

ハディースの伝承者たちの**正確さ**に注目してほしい。彼らは言葉だけで満足せず、誤解されないようにその意味を尋ねた。これこそが、何世紀にもわたってスンナを守ってきた、知識に対する誠実さである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「いいえ、むしろ月のよう」

アッラーの使徒 ﷺ のお顔を表す最も有名なたとえは、**月**である。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 11 番

حَدَّثَنَا سُفْيَانُ بْنُ وَكِيعٍ، حَدَّثَنَا حُمَيْدُ بْنُ عَبْدِ الرَّحْمَنِ الرُّؤَاسِيُّ، عَنْ زُهَيْرٍ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، قَالَ: سَأَلَ رَجُلٌ الْبَرَاءَ بْنَ عَازِبٍ: أَكَانَ وَجْهُ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مِثْلَ السَّيْفِ؟ قَالَ: لا، بَلْ مِثْلَ الْقَمَرِ.

日本語訳：

アブー・イスハークは言った。ある男がバラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما に尋ねた。「**アッラーの使徒 ﷺ のお顔は剣のようでしたか。**」彼は答えた。「**いいえ、むしろ月のようであった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：スフヤーン・イブン・ワキーウ ← フマイド・イブン・アブドゥッラフマーン・ルアースィー ← ズハイル・イブン・ムアーウィヤ ← アブー・イスハーク・サビーイー ← バラーゥ・イブン・アーズィブ رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 11 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 3552 番にもある。

判定： サヒーフ ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ブハーリーも『サヒーフ』に収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:11

このハディースからの教訓

尋ねた男は、剣の刃のようにきらめく細長い顔を思い描いていたのかもしれない。バラーゥはそれを否定した。お顔は月のように**やや丸みを帯び、柔らかく輝いて**おり、細長く鋭いものではなかった。月の光はまぶしくなく、心を和ませる。彼を見る人々にとって、彼のお顔はまさにそのようであった。

注：「月よりも美しい」（『シャマーイル』10）

ジャービル・イブン・サムラは言った。「月の明るい夜、赤い衣をまとったアッラーの使徒 ﷺ を見た。私は彼と月とを見比べた。**私には、彼のほうが月よりも美しかった。**」

この伝承は非常に有名だが、伝承者アシュアス・イブン・サウワールのため、ズバイル・アリー・ザイーによれば伝承経路は**ダイーフ**である。これは『ジャーミウ・ティルミズィー』（第 2811 番）にもあり、そこでも同様に弱いと判定されている。その基本的な意味、すなわち月のようなお顔は、上のバラーゥのハディースによって確かである。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 10 番、『ジャーミウ・ティルミズィー』第 2811 番。
https://sunnah.com/shamail:10

これはまた、アッラーの使徒 ﷺ の**真の美しさ**がお顔だけでなく、彼がもたらした導きの光にあることを思い出させてくれる。月のようなそのお顔は、クルアーンとスンナによって世界を照らしたのである。

銀で形づくられたかのよう

アブー・フライラ رضى الله عنه は別のたとえを伝えた。「アッラーの使徒 ﷺ は白く、**まるで銀で形づくられたかのよう**で、髪はゆるやかに波打っていた」（『シャマーイル』12）— ハサン。銀は、青白くはなく、白く輝く肌を思わせる。

学者たちは、肌の色についての伝承を総合する。アナスは「青白い白さでも浅黒さでもない」と言い、別の伝承では「小麦色」と言った。結論として、彼は**赤みを帯びた輝く白さ**であり、それはアラブ人の目に最も美しい色であった。

最後に亡くなった教友である**アブー・トゥファイル** رضى الله عنه は言った。「私は預言者 ﷺ を見た。**今、地上で彼を見た者は私のほかに一人も残っていない。**」描写を求められると、彼は言った。「彼は白く、好ましいお顔で、中くらいの体格であった」（『シャマーイル』14）— サヒーフ。アブー・トゥファイルはヒジュラ暦 100〜110 年ごろに亡くなり、彼の死とともに教友の時代は終わった。

注：前歯の間の光（『シャマーイル』15）

イブン・アッバースは、彼の前歯にはわずかに隙間があり、話すとその間から光が出てくるように見えたと伝えた。この伝承の伝承経路は、ズバイル・アリー・ザイーによれば**非常に弱い**ため、根拠にすることはできない。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 15 番 — 伝承経路は非常に弱い。
https://sunnah.com/shamail:15

示された預言者たち

第 1 章には、心ひかれるハディースも収められている。アッラーの使徒 ﷺ ご自身が、示された何人かの預言者たちの姿を描写されたのである。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 13 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، قَالَ: أَخْبَرَنِي اللَّيْثُ بْنُ سَعْدٍ، عَنْ أَبِي الزُّبَيْرِ، عَنْ جَابِرِ بْنِ عَبْدِ اللهِ، أَنَّ رَسُولَ اللهِ صلى الله عليه وسلم، قَالَ: عُرِضَ عَلَيَّ الأَنْبِيَاءُ، فَإِذَا مُوسَى عَلَيْهِ السَّلامُ، ضَرْبٌ مِنَ الرِّجَالِ، كَأَنَّهُ مِنْ رِجَالِ شَنُوءَةَ، وَرَأَيْتُ عِيسَى بْنَ مَرْيَمَ عَلَيْهِ السَّلامُ، فَإِذَا أَقْرَبُ مَنْ رَأَيْتُ بِهِ شَبَهًا عُرْوَةُ بْنُ مَسْعُودٍ، وَرَأَيْتُ إِبْرَاهِيمَ عَلَيْهِ السَّلامُ، فَإِذَا أَقْرَبُ مَنْ رَأَيْتُ بِهِ شَبَهًا صَاحِبُكُمْ، يَعْنِي نَفْسَهُ، وَرَأَيْتُ جِبْرِيلَ عَلَيْهِ السَّلامُ، فَإِذَا أَقْرَبُ مَنْ رَأَيْتُ بِهِ شَبَهًا دِحْيَةُ.

日本語訳：

ジャービル・イブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما によると、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**預言者たちが私に示された。**ムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ は細身の人で、シャヌーア族の男たちの一人のようであった。マルヤムの子イーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ を見たが、私が見た中で彼に最も似ているのはウルワ・イブン・マスウードである。**イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ を見たが、彼に最も似ているのはあなたがたの仲間である**（ご自身のこと）。そしてジブリール عَلَيْهِ السَّلَامُ を見たが、彼に最も似ているのはディフヤである。」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：クタイバ・イブン・サイード ← ライス・イブン・サアド ← アブー・ズバイル ← ジャービル・イブン・アブドゥッラー رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 13 番に収録。『サヒーフ・ムスリム』第 167 番にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ムスリムも『サヒーフ』に収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:13

このハディースからの教訓

このハディースは、アッラーの使徒 ﷺ の容姿が、預言者たちの父であり彼の祖先である**預言者イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ に最も似ていた**ことを示している。これは栄誉である。アッラーは、カアバを建てたイブラーヒームの面影を、イブラーヒームの宗教を完成させた最後の預言者のお顔に現されたのである。

これはまた、ジブリール عَلَيْهِ السَّلَامُ がときに、美しい容貌で知られた教友**ディフヤ・カルビー**の姿で現れた理由も説明している。ウンム・サラマなどの教友は、それと気づかずにディフヤの姿をしたジブリールを見たことがあった。

第 2 章：預言者性の印

ハータム・ン＝ヌブーワ、すなわち「預言者性の印」は、アッラーの使徒 ﷺ の両肩の間、左肩寄りにあった身体のしるしである。それは以前の啓典で最後の預言者のしるしの一つとして言及されており、啓典の民の中にはそれによって彼を見分けた人々もいた。

『シャマーイル』の第 2 章には、印についての 8 つの伝承がある。教友たちはそれを、**天蓋のボタン、ハトの卵、握りこぶし、毛の房**といったさまざまなイメージで描写した。これらの違いは矛盾ではない。それぞれの教友が、異なる角度から、異なる時に見たものを描写したのである。

「印（封緘）」という名には、より深い意味もある。アッラーは、ムハンマドが「**アッラーの使徒であり，また預言者たちの封緘である**」（部族連合章 33:40）と仰せられた。背中のこの身体のしるしは、預言者の系譜を閉じて確証する**封印**のようなものであった。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

天蓋のボタンのよう

サーイブ・イブン・ヤズィード رضى الله عنه は、まだ子どもだったころに印を見た。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 16 番

حَدَّثَنَا أَبُو رَجَاءٍ قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا حَاتِمُ بْنُ إِسْمَاعِيلَ، عَنِ الْجَعْدِ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، قَالَ: سَمِعْتُ السَّائِبَ بْنَ يَزِيدَ، يَقُولُ: ذَهَبَتْ بِي خَالَتِي إِلَى النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم، فَقَالَتْ: يَا رَسُولَ اللهِ، إِنَّ ابْنَ أُخْتِي وَجِعٌ فَمَسَحَ رَأْسِي وَدَعَا لِي بِالْبَرَكَةِ، وَتَوَضَّأَ، فَشَرِبْتُ مِنْ وَضُوئِهِ، وَقُمْتُ خَلْفَ ظَهْرِهِ، فَنَظَرْتُ إِلَى الْخَاتَمِ بَيْنَ كَتِفَيْهِ، فَإِذَا هُوَ مِثْلُ زِرِّ الْحَجَلَةِ.

日本語訳：

サーイブ・イブン・ヤズィード رضى الله عنه は言った。母方のおばが私を預言者 ﷺ のもとへ連れて行き、「アッラーの使徒よ、私の姉妹の息子が病気です」と言った。**すると彼は私の頭をなで、私のために祝福を祈ってくださった。**それから彼はウドゥー（小浄）をされ、私はその水を飲んだ。私は彼の後ろに立ち、**両肩の間にある印を見た。それは婚礼の天蓋のボタンのようであった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブー・ラジャーゥ・クタイバ・イブン・サイード ← ハーティム・イブン・イスマーイール ← ジャアド・イブン・アブドゥッラフマーン ← サーイブ・イブン・ヤズィード رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 16 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 190 番、『サヒーフ・ムスリム』第 2345 番にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:16

このハディースからの教訓

このハディースは、アッラーの使徒 ﷺ の子どもたちへの**優しさ**を示している。彼は病気の少年の頭をなで、その子のために祈り、そばに近づくことを許された。サー

イブは長生きし、マディーナで亡くなった最後の教友の一人となった。彼の弟子は、94 歳になってもなお丈夫で背筋の伸びた彼を見ている。サーイブは、自分の耳と目が衰えないのは預言者の祈りのおかげだと語った（『サヒーフ・ブハーリー』3540）。

注：ハトの卵のよう（『シャマーイル』17〜19）

ティルミズィーはジャービル・イブン・サムラから、印は「**赤みを帯びたハトの卵のよう**」であったと伝えている。ティルミズィーの伝承経路はダイーフだが、その意味は**確か**である。イマーム・ムスリムが別の伝承経路でジャービル・イブン・サムラから「ハトの卵のようで、その色は彼の体の色に似ていた」と伝えているからである（『サヒーフ・ムスリム』2344）。

サアド・イブン・ムアーズの死に際して玉座が揺れたというルマイサの伝承（第 18 番）は、ここでは伝承経路がダイーフだが、出来事そのものは『サヒーフ・ブハーリー』第 3803 番で**確か**である。

出典：

『シャマーイル』17〜19、『サヒーフ・ムスリム』2344、『サヒーフ・ブハーリー』3803。
https://sunnah.com/muslim:2344a

「毛の房」

アブー・ザイド・アムル・イブン・アフタブ رضى الله عنه は、預言者の求めに応じて、自分の手で印に触れたことがある。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 20 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا أَبُو عَاصِمٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَزْرَةُ بْنُ ثَابِتٍ، قَالَ: حَدَّثَنِي عِلْبَاءُ بْنُ أَحْمَرَ الْيَشْكُرِيُّ، قَالَ: حَدَّثَنِي أَبُو زَيْدٍ عَمْرُو بْنُ أَخْطَبَ الأَنْصَارِيُّ، قَالَ: قَالَ لِي رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم: يَا أَبَا زَيْدٍ، ادْنُ مِنِّي فَامْسَحْ ظَهْرِي، فَمَسَحْتُ ظَهْرَهُ، فَوَقَعَتْ أَصَابِعِي عَلَى الْخَاتَمِ قُلْتُ: وَمَا الْخَاتَمُ؟ قَالَ: شَعَرَاتٌ مُجْتَمِعَاتٌ.

日本語訳：

アブー・ザイド・アムル・イブン・アフタブ・アンサーリー رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ は私に言われた。「**アブー・ザイドよ、近くに来て私の背中をさすってくれ。**」そこで私が背中をさすると、指が印に触れた。（伝承者が尋ねた）「その印とは何でしたか。」彼は言った。「**毛の房であった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・イブン・バッシャール ← アブー・アースィム・ダッハーク・イブン・マフラド ← アズラ・イブン・サービト ← イルバーゥ・イブン・アフマル・ヤシュクリー ← アブー・ザイド・アムル・イブン・アフタブ・アンサーリー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 20 番に収録。『ムスナド・アフマド』にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:20

このハディースからの教訓

彼の**温かさ**に注目してほしい。彼は、父が息子にするように、教友に背中をさすってくれるよう頼まれた。別の伝承では、彼はアブー・ザイドの顔をなでて彼のため

に祈られた。伝承者によれば、アブー・ザイドは 120 歳まで生き、白髪はわずかしかなかったという（『ジャーミウ・ティルミズィー』3629 — サヒーフ）。

アブー・サイード・フドリー رضى الله عنه は、それを「**背中の盛り上がった肉**」と描写した（『シャマーイル』22）— 伝承経路はハサン。これらの描写はすべて互いを補い合っている。それはハトの卵ほどの大きさの、わずかに盛り上がった肉の部分で、その上に何本かの毛があったのである。

印についての教友たちの描写の違いは、彼らの**誠実さ**も示している。彼らは話を合わせることをせず、それぞれが見たものを自分の言葉で伝えた。これは作り話ではなく、本物の伝承であることのしるしである。

今日の信仰者にとって、預言者性の印はもはや目で見ることのできるものではない。しかしその意味は残っている。ムハンマド ﷺ は最後の使徒であり、**彼の後に預言者は来ない**。この信仰を堅く守ることが、あらゆる時代の偽預言者からウンマを守るのである。

サルマーン・ファーリスィーと印

この章で最も心を打つ物語は、**サルマーン・ファーリスィー** رضى الله عنه の物語である。サルマーンはペルシアの出身で、ゾロアスター教を離れ、何人かのキリスト教の修道士のもとで学んだ。最後の師は、来たるべき預言者のしるしを彼に教えた。**その預言者は施しを食べず、贈り物は受け取り、両肩の間には預言者性の印がある**、と。やがて彼は奴隷として売られ、マディーナにたどり着いた。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 21 番

حَدَّثَنَا أَبُو عَمَّارٍ الْحُسَيْنُ بْنُ حُرَيْثٍ الْخُزَاعِيُّ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَلِيُّ بْنُ حُسَيْنِ بْنِ وَاقِدٍ، حَدَّثَنِي أَبِي، قَالَ: حَدَّثَنِي عَبْدُ اللهِ بْنُ بُرَيْدَةَ، قَالَ: سَمِعْتُ أَبِي بُرَيْدَةَ، يَقُولُ: جَاءَ سَلْمَانُ الْفَارِسِيُّ إِلَى رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم، حِينَ قَدِمَ الْمَدِينَةَ بِمَائِدَةٍ عَلَيْهَا رُطَبٌ، فَوَضَعَهَا بَيْنَ يَدَيْ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم، فَقَالَ: يَا سَلْمَانُ مَا هَذَا؟ فَقَالَ: صَدَقَةٌ عَلَيْكَ، وَعَلَى أَصْحَابِكَ، فَقَالَ: ارْفَعْهَا، فَإِنَّا لا نَأْكُلُ الصَّدَقَةَ، قَالَ: فَرَفَعَهَا، فَجَاءَ الْغَدَ بِمِثْلِهِ، فَوَضَعَهُ بَيْنَ يَدَيْ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم، فَقَالَ: مَا هَذَا يَا سَلْمَانُ؟ فَقَالَ: هَدِيَّةٌ لَكَ، فَقَالَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم لأَصْحَابِهِ: ابْسُطُوا ثُمَّ نَظَرَ إِلَى الْخَاتَمِ عَلَى ظَهْرِ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم، فَآمَنَ بِهِ، وَكَانَ لِلْيَهُودِ فَاشْتَرَاهُ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، بِكَذَا وَكَذَا دِرْهَمًا عَلَى أَنْ يَغْرِسَ لَهُمْ نَخْلا، فَيَعْمَلَ سَلْمَانُ فِيهِ، حَتَّى تُطْعِمَ، فَغَرَسَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، النَّخلَ إِلا نَخْلَةً وَاحِدَةً، غَرَسَهَا عُمَرُ فَحَمَلَتِ النَّخْلُ مِنْ عَامِهَا، وَلَمْ تَحْمِلْ نَخْلَةٌ، فَقَالَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم: مَا شَأْنُ هَذِهِ النَّخْلَةِ؟ فَقَالَ عُمَرُ: يَا رَسُولَ اللهِ، أَنَا غَرَسْتُهَا، فَنَزَعَهَا رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم، فَغَرَسَهَا فَحَمَلَتْ مِنْ عَامِهَا.

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・ブライダは言った。私は父ブライダ رضى الله عنه がこう言うのを聞いた。アッラーの使徒 ﷺ がマディーナに来られたとき、サルマーン・ファーリスィーが生のナツメヤシの実を盛った盆を持って来て、彼の前に置いた。彼は尋ねた。

「サルマーンよ、これは何か。」彼は言った。「あなたとお仲間への施し（サダカ）です。」彼は言われた。「**下げなさい。私たちは施しを食べないのだ。**」翌日、彼は同じものを持って来て、「これはあなたへの贈り物です」と言った。するとアッラーの使徒 ﷺ は教友たちに「手を伸ばして（食べなさい）」と言われた。**それからサルマーンはアッラーの使徒 ﷺ の背中の印を見て、彼を信じた。**当時サルマーンはユダヤ教徒たちの奴隷であったので、アッラーの使徒 ﷺ は一定のディルハムで彼を買い取られた。ナツメヤシを植え、実がなるまでサルマーンが世話をするという条件であった。アッラーの使徒 ﷺ は、ウマルが植えた一本を除いて、すべての木をご自身で植えられた。その年のうちに、その一本以外はすべて実をつけた。彼がそれについて尋ねると、ウマルは「私が植えました」と言った。**そこでアッラーの使徒 ﷺ はそれを抜いて植え直され、その木はその年のうちに実をつけた。**

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アブー・アンマール・フサイン・イブン・フライス・フザーイー ← アリー・イブン・フサイン・イブン・ワーキド ← フサイン・イブン・ワーキド（その父） ← アブドゥッラー・イブン・ブライダ ← ブライダ・イブン・フサイブ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 21 番に収録。『ムスナド・アフマド』にもある。

判定： ハサンな伝承経路 — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:21

このハディースからの教訓

サルマーンは三つのしるしを一つずつ確かめた。**施しは断られ、贈り物は受け取られ、そして印を見た。**三つすべてが確かめられたとき、彼はすぐに信仰した。これは単なる模倣ではなく、**知識と探求**の上に築かれた信仰である。

ナツメヤシの木の話は、彼の**奇跡**と、奴隷を解放しようとする熱意を示している。アッラーの使徒 ﷺ はご自身の手で木を植えられ、彼が植えた木はその年のうちに実をつけた。サルマーンの物語の全体は、スィーラのシリーズで触れた。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

「あなたにも」

アブドゥッラー・イブン・サルジス رضى الله عنه は印を見たいと願ったが、頼むのをためらっていた。アッラーの使徒 ﷺ は、一言もなしに彼の望みを察せられた。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 23 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ الْمِقْدَامِ أَبُو الأَشْعَثِ الْعِجْلِيُّ الْبَصْرِيُّ، قَالَ: أَخْبَرَنَا حَمَّادُ بْنُ زَيْدٍ، عَنْ عَاصِمٍ الأَحْوَلِ، عَنْ عَبْدِ اللهِ بْنِ سَرْجِسَ، قَالَ: أَتَيْتُ رَسُولَ اللهِ صلى الله عليه وسلم وَهُوَ فِي نَاسٍ مِنْ أَصْحَابِهِ، فَدُرْتُ هَكَذَا مِنْ خَلْفِهِ، فَعَرَفَ الَّذِي أُرِيدُ، فَأَلْقَى الرِّدَاءَ عَنْ ظَهْرِهِ، فَرَأَيْتُ مَوْضِعَ الْخَاتَمِ عَلَى كَتِفَيْهِ، مِثْلَ الْجُمْعِ حَوْلَهَا خِيلاَنٌ، كَأَنَّهَا ثَآلِيلُ، فَرَجَعْتُ حَتَّى اسْتَقْبَلْتُهُ، فَقُلْتُ: غَفَرَ اللَّهُ لَكَ يَا رَسُولَ اللهِ، فَقَالَ: وَلَكَ فَقَالَ الْقَوْمُ: أَسْتَغْفَرَ لَكَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم؟ فَقَالَ: نَعَمْ، وَلَكُمْ، ثُمَّ تَلا هَذِهِ الآيَةَ ﴿وَاسْتَغْفِرْ لِذَنْبِكَ وَلِلْمُؤْمِنِينَ وَالْمُؤْمِنَاتِ﴾

日本語訳：

アブドゥッラー・イブン・サルジス رضى الله عنه は言った。アッラーの使徒 ﷺ が教友たちの中におられるところへ私は行き、このように彼の後ろへ回った。**すると彼は私の望みを察し、背中から外套を下ろされた。**私は彼の両肩の上に、握りこぶしのような印の場所を見た。その周りにはいぼのようなほくろがあった。それから私は前へ回って言った。「アッラーがあなたをお赦しくださいますように、アッラーの使徒よ。」彼は言われた。「**あなたにも。**」人々は尋ねた。「アッラーの使徒 ﷺ があなたのために赦しを請われたのですか。」彼は言った。「そうだ、あなたがたのためにも」と。そして次の節を読んだ。「**あなたの罪過に対し御赦しを請え。また信仰する男たち，信仰する女たちのためにも**」（ムハンマド章 47:19）。

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アフマド・イブン・ミクダーム・アブー・アシュアス・イジュリー ← ハンマード・イブン・ザイド ← アースィム・アフワル ← アブドゥッラー・イブン・サルジス رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 23 番に収録。『サヒーフ・ムスリム』第 2346 番にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。イマーム・ムスリムも『サヒーフ』に収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:23

このハディースからの教訓

彼が読まれた節はこれである。「**あなたの罪過に対し御赦しを請え。また信仰する男たち，信仰する女たちのためにも御赦しを請え**」（ムハンマド章 47:19）— タフスィール・イブン・カスィール 47:19。

このハディースには三つの教訓がある。（1）他人の気持ちに対する彼の**繊細さ**。（2）彼のために赦しを祈ったアブドゥッラー・イブン・サルジスの**礼儀正しさ**。（3）その祈りに応えるだけでなく、今日の私たちを含むすべての信仰者のためにも赦しを請われた彼の**愛**である。

第 3 章：その髪

『シャマーイル』の第 3 章には、アッラーの使徒 ﷺ の髪についての 8 つの伝承がある。サヒーフな伝承は、**髪の長さが時期によって異なった**ことを示している。ときには**耳の半ばまで**（『シャマーイル』24）、ときには**耳たぶまで**（『シャマーイル』26）、そしてときには**肩に触れるほど**であった（『シャマーイル』4）。

アーイシャ رضى الله عنها は言った。「アッラーの使徒 ﷺ と私は一つの器から沐浴した。彼の髪は**耳たぶより長く、肩には届かなかった**」（『シャマーイル』25）— 伝承経路はハサン。カターダがアナスに彼の髪について尋ねると、アナスは答えた。「縮れてもまっすぐでもなく、耳たぶに届いていた」（『シャマーイル』27）— 伝承経路はサヒーフ。

学者たちの説明によれば、彼はハッジとウムラのとき以外は**頭を常に剃ることはなかった**。剃った後、髪はまた長く伸びたので、教友たちはそれぞれ自分が見た時の長さを描写したのである。ここから学者たちは、髪を整えて**伸ばしておくこと**はスンナであり、剃ることもまた許されると結論した。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

垂らし、そして分ける

ある重要な伝承は、彼の髪型の変化を説明している。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 30 番

حَدَّثَنَا سُوَيْدُ بْنُ نَصْرٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ الْمُبَارَكِ، عَنْ يُونُسَ بْنِ يَزِيدَ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ: حَدَّثَنَا عُبَيْدُ اللَّهِ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُتْبَةَ، عَنِ ابْنِ عَبَّاسٍ: أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ كَانَ يُسْدِلُ شَعْرَهُ، وَكَانَ الْمُشْرِكُونَ يَفْرِقُونَ رُءُوسَهُمْ، وَكَانَ أَهْلُ الْكِتَابِ يُسْدِلُونَ رُءُوسَهُمْ، وَكَانَ يُحِبُّ مُوَافَقَةَ أَهْلِ الْكِتَابِ فِيمَا لَمْ يُؤْمَرْ فِيهِ بِشَيْءٍ، ثُمَّ فَرَقَ رَسُولُ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ رَأْسَهُ.

日本語訳：

イブン・アッバース رضى الله عنهما は伝えた。「**アッラーの使徒 ﷺ は髪を前に垂らしておられた。多神教徒たちは髪を分け、啓典の民は髪を垂らしていた。彼は、命令が下されていない事柄については啓典の民に合わせることを好まれた。その後、アッラーの使徒 ﷺ は髪を分けられた。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：スワイド・イブン・ナスル ← アブドゥッラー・イブン・ムバーラク ← ユーヌス・イブン・ヤズィード ← イブン・シハーブ・ズフリー ← ウバイドゥッラー・イブン・アブドゥッラー・イブン・ウトバ ← イブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 30 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 3558 番、『サヒーフ・ムスリム』第 2336 番にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:30

このハディースからの教訓

マッカでは、彼は初め啓典の民のように髪を前に垂らしておられた。啓典の民は多神教徒よりも啓示の宗教に近かったからである。その後、彼は**髪を真ん中で分けられ**、この髪型は生涯の終わりまで続いた。

学者たちはこのハディースから、**ムスリムとしてのアイデンティティ**についての教訓を引き出している。具体的な命令のない事柄では、彼は初め啓典の民の側に傾いておられた。その後、ムスリム共同体が確立するにつれて、白髪を染めることのように（第 6 章）、ムスリムを**際立たせる**多くの特徴を定められたのである。

このハディースはまた、**シャリーアが段階的に啓示された**ことも示している。啓示のない事柄では、彼は真理に最も近いものを選ばれた。その後、アッラーがより明確な規定を定められた。これは、文脈と時間の流れを見てスンナを理解するよう私たちに教えている。

今日、多くのムスリム男性は髪を短くしており、それもまた許されている。大切なのは、**清潔さと身だしなみにおいてスンナに従うという意図**であり、イスラームの価値観に反する集団を象徴するような髪型をまねないことである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マッカでの四つの編み髪

注：四つの編み髪（『シャマーイル』28 と 31）

ウンム・ハーニゥ・ビント・アビー・ターリブ رضى الله عنها は言った。「アッラーの使徒 ﷺ は（マッカ開放の日に）マッカに来られたが、そのとき**四つの編み髪**をしておられた。」

ズバイル・アリー・ザイーは、ムジャーヒドがウンム・ハーニゥから直接聞いていないため、両方の伝承経路を**ダイーフ**と判定した。しかしシャイフ・アルバーニーは、『スナン・アビー・ダーウード』（第 4191 番）にある同じ伝承を**サヒーフ**と判定した。これはハディース学者の間で評価が分かれる一例である。

出典：

『シャマーイル』28、31、『スナン・アビー・ダーウード』4191。 https://sunnah.com/shamail:28

この伝承を受け入れるならば、長い旅の間、彼の長い髪は、整えて砂ぼこりや風から守るために**結ぶか編むかされていた**ことになる。それは過度の装飾ではなく、旅人としての**身だしなみ**であった。

この章全体から、アッラーの使徒 ﷺ が、清潔で整った、油をつけた髪というように、度を越すことなく**ご自身の身なりに気を配っておられた**ことを学ぶ。清潔さと身だしなみは、ムスリムの人格の一部なのである。

第 4 章：髪の手入れ

『シャマーイル』の第 4 章は**タラッジュル**、すなわち髪をとかし整えることについて述べている。最初の伝承はアーイシャ رضى الله عنها によるものである。「私は**月経中に**アッラーの使徒 ﷺ の髪をとかしていた」（『シャマーイル』32）— 伝承経路はサヒーフ。『サヒーフ・ブハーリー』第 295 番にもある。

このハディースには二つの教訓がある。第一に、**夫婦の愛情**である。妻が夫の髪をとかし、夫はそれを喜んで受け入れた。第二に、**月経中の女性の清浄さ**である。彼女の体は不浄ではなく、いつものように夫に触れ、仕え、世話をすることができる。

この教えは、月経中の女性を家族から隔離した過去のいくつかの社会の慣習とは大きく異なる。イスラームは**女性を尊び**、月経が人を汚れた者、卑しい者にするという考えを退けるのである。

アーイシャはまた、アッラーの使徒 ﷺ がモスクでイウティカーフ（籠もり）をしておられるとき、頭を彼女の部屋に差し入れ、月経中の彼女がその髪をとかしたことも伝えている（『サヒーフ・ブハーリー』2028）。イウティカーフも、妻の愛情ある世話を受けることを妨げなかったのである。

右から始める

アッラーの使徒 ﷺ が大切にされたスンナの一つは、良い事柄において**右から始める**ことであった。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 34 番

حَدَّثَنَا هَنَّادُ بْنُ السَّرِيِّ، قَالَ: حَدَّثَنَا أَبُو الأَحْوَصِ، عَنِ الأَشْعَثِ بْنِ أَبِي الشَّعْثَاءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ مَسْرُوقٍ، عَنْ عَائِشَةَ، قَالَتْ: إِنْ كَانَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم لَيُحِبُّ التَّيَمُّنَ فِي طُهُورِهِ إِذَا تَطَهَّرَ، وَفِي تَرَجُّلِهِ إِذَا تَرَجَّلَ، وَفِي انْتِعَالِهِ إِذَا انْتَعَلَ.

日本語訳：

アーイシャ رضى الله عنها は言った。「**アッラーの使徒 ﷺ は、身を清めるときの清め、髪をとかすときの整髪、サンダルを履くときの履き方において、右から始めることを好まれた。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ハンナード・イブン・サリー ← アブー・アフワス・サッラーム・イブン・スライム ← アシュアス・イブン・アビー・シャアサーゥ ← アブー・シャアサーゥ（その父） ← マスルーク ← アーイシャ رضى الله عنها。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 34 番に収録。『サヒーフ・ブハーリー』第 168 番、『サヒーフ・ムスリム』第 268 番にもある。

判定： サヒーフな伝承経路 — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ブハーリーとムスリムも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:34

このハディースからの教訓

学者たちはその原則をこう説明する。ウドゥー、衣服やサンダルを身につけること、髪をとかすこと、食べること、飲むこと、モスクに入ることといった**尊く清らかな**事柄では、右を先にする。その反対の事柄、すなわちトイレに入ること、サンダルを脱ぐこと、モスクを出ることでは、左を先にする。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

このスンナは小さなものだが、**日々のあらゆる動作**を崇拝に変える。スンナに従って右の靴から履くムスリムは、ごく普通の行いの中で報いを得る。幼いころから子どもたちに教えよう。

右から始めるスンナは、**恵み**についても教えている。学者たちは、右手はアッラーの恵みへの敬意のしるしとして尊いことに用い、左手は汚れを清めるために用いると指摘する。これは子どものころからムスリムの礼儀を形づくるしつけである。

アッラーの使徒 ﷺ は別のハディースでもこう教えられた。「あなたがたの誰かが食べるときは右手で食べ、飲むときは右手で飲みなさい」（『サヒーフ・ムスリム』2020）。このスンナについては、飲食についての巻で詳しく述べる。

身だしなみに凝りすぎない

アッラーの使徒 ﷺ は髪を整えておられたが、身だしなみに**凝りすぎることはなかった**。アブドゥッラー・イブン・ムガッファル رضى الله عنه は伝えた。「アッラーの使徒 ﷺ は、**ときどきでなければ**髪をとかすことを禁じられた」（『シャマーイル』35）。

注：これらの伝承の判定（『シャマーイル』33、35、36）

ズバイル・アリー・ザイーは、三つの伝承すべてを**伝承経路がダイーフ**と判定した。伝承 33（彼は髪に油をよくつけたので、頭の布が油売りの布のように見えた）は、伝承者ヤズィード・ラカーシーのためにダイーフである。

しかし伝承 35（ときどきでなければ髪をとかすことを禁じた）は『スナン・アビー・ダーウード』第 4159 番にもあり、シャイフ・アルバーニーはこれを**サヒーフ**と判定した。その意味は、装飾の行き過ぎを禁じる他のハディースによっても支えられている。

出典：

『シャマーイル』33、35、36、『スナン・アビー・ダーウード』4159。
https://sunnah.com/abudawud:4159

学者たちは「ときどき」をこう説明する。髪をとかすことが禁じられているのではなく、**装うことが主な関心事になってはならない**ということである。それは時間を浪費させ、外見にとらわれた人々に似ることになる。イスラームは**均衡**を教える。清潔で整っていても、見た目にとらわれないことである。

この教訓は、多くの人が自分の外見に何時間も費やすソーシャルメディアの時代に、まさにふさわしい。アッラーの使徒 ﷺ は、**ほどよく自分の身を整え**、時間をより意味のあることに使うよう教えてくださったのである。

第 5 章：その白髪

『シャマーイル』の第 5 章は、アッラーの使徒 ﷺ の**白髪**について述べている。サヒーフな伝承は、白髪が**ごくわずか**であったことで一致している。アナス رضى الله عنه はそれを数えた。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 38 番

حَدَّثَنَا إِسْحَاقُ بْنُ مَنْصُورٍ، وَيَحْيَى بْنُ مُوسَى، قَالَا: حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، عَنْ مَعْمَرٍ، عَنْ ثَابِتٍ، عَنْ أَنَسٍ، قَالَ: مَا عَدَدْتُ فِي رَأْسِ رَسُولِ اللهِ صلى الله عليه وسلم وَلِحْيَتِهِ، إِلا أَرْبَعَ عَشْرَةَ شَعَرَةً بَيْضَاءَ.

日本語訳：

アナス رضى الله عنه は言った。「**私がアッラーの使徒 ﷺ の頭とあごひげに数えた白髪は、十四本を超えなかった。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：イスハーク・イブン・マンスールと ヤフヤー・イブン・ムーサー ← アブドゥッラッザーク ← マアマル・イブン・ラーシド ← サービト・ブナーニー ← アナス・イブン・マーリク رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 38 番に収録。

判定： サヒーフな伝承経路 ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。

ソース：https://sunnah.com/shamail:38

このハディースからの教訓

カターダはアナスに尋ねた。「アッラーの使徒 ﷺ は髪を染められましたか。」アナスは答えた。「**彼はそこまでには至らなかった。白髪はこめかみにあるだけだった。**しかしアブー・バクルはヘンナとカタムで髪を染めていた」（『シャマーイル』37）― 伝承経路はサヒーフ。

ジャービル・イブン・サムラ رضى الله عنه は興味深い細部を付け加えた。**「髪に油をつけると白髪は見えず、油をつけていないと少し見えた」**（『シャマーイル』39）— 伝承経路はサヒーフ。イブン・ウマルは、白髪は**「二十本ほど」**であったと言った（『シャマーイル』40）— ハサン。

14 本、17 本ほど、20 本ほどという数は矛盾しない。教友たちはそれぞれ異なる時に数え、概数を述べた者もいた。確かなのは、アッラーの使徒 ﷺ が 63 歳で亡くなったとき、髪は**ほとんど黒いままであった**ということである。それは、アッラーが彼に授けた健康と活力のしるしであった。

白髪はイスラームにおいて尊ばれる地位もある。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「白髪を抜いてはならない。それは復活の日に**ムスリムの光**となる」（『スナン・アビー・ダーウード』4202 — ハサン・サヒーフ）。白髪は恥ずべきものではなく、イスラームの中で過ごした人生のしるしなのである。

「フード章とその姉妹章」

白髪はわずかであったが、教友たちはそれに気づき、尋ねた。アブー・ジュハイファ رضي الله عنه は言った。「人々は言った。『アッラーの使徒よ、あなたは白髪になられたようにお見受けします。』彼は答えられた。**『フード章とその姉妹章が私を白髪にしたのだ』**」（『シャマーイル』42）— ハサン。

注：イブン・アッバースの伝承（『シャマーイル』41）

イブン・アッバースの伝承では、アブー・バクルが「アッラーの使徒よ、あなたは白髪になられました」と言った。彼は言われた。「私を白髪にしたのは、**フード章、ワーキア章、ムルサラート章、アンマ・ヤタサーアルーン（ナバア章）、イザッ・シャムス・クウウィラト（タクウィール章）**である。」

ズバイル・アリー・ザイーは、アブー・イスハークの伝承に不一致があるため、その伝承経路をダイーフと判定した。しかし『ジャーミウ・ティルミズィー』（第 3297 番）にある同じ伝承は、ダールッサラーム版の校訂者とシャイフ・アルバーニーによって**サヒーフ**と判定されている。

出典：
『シャマーイル』41〜42、『ジャーミウ・ティルミズィー』3297。 https://sunnah.com/tirmidhi:3297

なぜフード章なのか。学者たちはその理由の一つとして、次の節を挙げている。**「命じられたように，（正しい道を）堅く守れ」**（フード章 11:112）— タフスィール・イブン・カスィール 11:112。

堅く立ち続けよという命令、すなわち少しも逸れることなくまっすぐな道に立ち続けることは、計り知れない責任である。これらの章はまた、以前の民の滅亡や終末の日の恐ろしさも語っている。彼はウンマの行く末を思い、その影響が髪に現れるほどであった。アッラーの使徒 ﷺ がこれほどクルアーンに心を動かされたのなら、私たちはどうであろうか。

第 6 章：染髪

第 6 章は**ヒダーブ**、すなわちヘンナなどで髪を染めることについて述べている。一見異なるように見える二種類の伝承がある。アナスは、彼は染めるところまでは**至らなかった**と言い（『シャマーイル』37）、一方アブー・フライラは「アッラーの使徒 ﷺ は髪を染められましたか」と尋ねられて、「**はい**」と答えた（『シャマーイル』46）— サヒーフ。

ハディース — 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 45 番

حَدَّثَنَا أَحْمَدُ بْنُ مَنِيعٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا هُشَيْمٌ، قَالَ: حَدَّثَنَا عَبْدُ الْمَلِكِ بْنُ عُمَيْرٍ، عَنْ إِيَادِ بْنِ لَقِيطٍ، قَالَ: أَخْبَرَنِي أَبُو رِمْثَةَ، قَالَ: أَتَيْتُ رَسُولَ اللَّهِ صَلَّى اللَّهُ عَلَيْهِ وَسَلَّمَ مَعَ ابْنٍ لِي، فَقَالَ: ابْنُكَ هَذَا؟ فَقُلْتُ: نَعَمْ , أَشْهَدُ بِهِ، قَالَ: لا يَجْنِي عَلَيْكَ، وَلا تَجْنِي عَلَيْهِ، قَالَ: وَرَأَيْتُ الشَّيْبَ أَحْمَرَ.

日本語訳：

アブー・リムサ رضى الله عنه は言った。私は息子を連れてアッラーの使徒 ﷺ のもとへ行った。彼は「これはあなたの息子か」と尋ねられた。私は「はい、そのことを証言します」と言った。彼は言われた。「**彼はあなたの罪を負わず、あなたも彼の罪を負わない。**」（アブー・リムサは）言った。「**そして私は、彼の白髪が赤みを帯びているのを見た。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：アフマド・イブン・マニーウ ← フシャイム・イブン・バシール ← アブドゥルマリク・イブン・ウマイル ← イヤード・イブン・ラキート ← アブー・リムサ・リファーア・イブン・ヤスリビー・タイミー رضى الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 45 番に収録。『スナン・アビー・ダーウード』と『スナン・ナサーイー』にもある。

判定： サヒーフ — ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。ティルミズィーは「これはこの題目で最も良い伝承である」と述べた。

ソース：https://sunnah.com/shamail:45

このハディースからの教訓

ティルミズィー自身、アブー・リムサの伝承がこの章で**最も良く、最も明確な**ものであると述べている。学者たちは、異なる伝承を次のように調和させる。彼は**ときどき**わずかな白髪を染められたか、あるいはその赤みは彼が用いた**香料**によるものであった。アナス自身、赤みを帯びた彼の髪の毛を何本か見せており（『シャマーイル』48）、ウンム・サラマも彼の染めた髪の毛を何本か保管していた（『サヒーフ・ブハーリー』5897）。

アブー・リムサへの彼の言葉、「**彼はあなたの罪を負わず、あなたも彼の罪を負わない**」は、イスラームの正義の原則である。各人は自分自身の行いに責任を負う。イスラーム以前の社会では、父の罪のために息子が殺されることもあったが、イスラームはその不当な慣習を廃止した。

別のハディースでは、彼はウンマに**白髪を染める**よう勧められた。「ユダヤ教徒とキリスト教徒は染めない。だから彼らと異なるようにせよ」（『サヒーフ・ブハーリー』3462）。アブー・バクルの父アブー・クハーファが、綿のように白い髪で彼のもとへ連れて来られたとき、彼は言われた。「**この色を変えなさい。ただし黒は避けなさい**」（『サヒーフ・ムスリム』2102）。

第 7 章：コール（目墨）

本書の最後の章である第 7 章は、**コール（目墨）**について述べている。この章の五つの伝承のうち、三つはダイーフ、二つはハサンである。最も確かなものは次の伝承である。

ハディース ― 『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 53 番

حَدَّثَنَا قُتَيْبَةُ بْنُ سَعِيدٍ، قَالَ: حَدَّثَنَا بِشْرُ بْنُ الْمُفَضَّلِ، عَنْ عَبْدِ اللهِ بْنِ عُثْمَانَ بْنِ خُثَيْمٍ، عَنْ سَعِيدِ بْنِ جُبَيْرٍ، عَنِ ابْنِ عَبَّاسٍ، قَالَ: قَالَ رَسُولُ اللهِ صلى الله عليه وسلم: إِنَّ خَيْرَ أَكْحَالِكُمُ الإِثْمِدُ، يَجْلُو الْبَصَرَ، وَيُنْبِتُ الشَّعْرَ.

日本語訳：

イブン・アッバース رضى الله عنهما は言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**あなたがたのコール（目墨）の中で最も良いのはイスミドである。それは視力をはっきりさせ、まつ毛を伸ばす。**」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：クタイバ・イブン・サイード ← ビシュル・イブン・ムファッダル ← アブドゥッラー・イブン・ウスマーン・イブン・フサイム ← サイード・イブン・ジュバイル ← イブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 53 番に収録。『スナン・アビー・ダーウード』第 3878 番にもある。

判定： ハサンな伝承経路 ― ズバイル・アリー・ザイー師による『シャマーイル』校訂版での判定。アブー・ダーウードも収録した。

ソース：https://sunnah.com/shamail:53

このハディースからの教訓

イスミドとは、ヒジャーズやイスファハーン産の黒いコールの石を粉にしたものである。イブン・ウマル رضى الله عنهما も同じ勧めを伝えている。「イスミドを用いなさい。それは視力をはっきりさせ、まつ毛を伸ばす」（『シャマーイル』54）― 伝承経路はハサン。

注：寝る前のコール（『シャマーイル』50〜52）

イブン・アッバースは、アッラーの使徒 ﷺ がコールの入れ物を持っておられ、毎晩寝る前に**両目にそれぞれ三回**コールをつけておられたと伝えた。ジャービルは、寝る前にイスミドを用いるよう勧める伝承を伝えた。

ズバイル・アリー・ザイーは、伝承者アッバード・イブン・マンスールとムハンマド・イブン・イスハークのため、三つの伝承すべてを**伝承経路がダイーフ**と判定した。したがって、三回という数や寝る前という時は確かな伝承では確認できないが、多くの学者はそれを実践している。

出典：

『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 50〜52 番。 https://sunnah.com/shamail:50

この章から、アッラーの使徒 ﷺ が当時知られていた方法で、目を含むご自身の体の**健康に気を配っておられた**ことを学ぶ。男性がコールをつけることは、女性をまねるためや見せびらかすためでない限り許されている。

教訓と結び

『シャマーイル』の最初の七つの章は、アッラーの使徒 ﷺ の**容姿と身だしなみ**を私たちに紹介してくれる。最も大切な教訓は次のとおりである。

章	主な教訓
1. 容姿	均衡、「彼より美しい人はいない」、月のようなお顔
2. 預言者性の印	預言者性のしるし、知識に基づくサルマーンの信仰
3. 髪	清潔で整った身なり、ムスリムとしてのアイデンティティ
4. 髪の手入れ	右から始めること、身だしなみに凝りすぎないこと
5. 白髪	「フード章とその姉妹章」— クルアーンが心に与える影響
6. 染髪	各人は自分の罪を負う、啓典の民と異なること
7. コール	許された方法で健康に気を配ること

私たちへのメッセージ

私たちは彼のお顔を見たことがない。しかし教友たちは、これらの伝承を通して**私たちに自分たちの目を貸してくれた**。彼の容姿を知ることが私たちの愛を深め、アッラーが楽園で彼にお会いする機会を私たちにお与えくださいますように。

イン・シャー・アッラー、本シリーズは『**預言者 ﷺ のシャマーイル**』**第二巻**へと続く。その衣服、革の靴下、サンダル、指輪、剣、鎧、ターバン、腰布、歩き方、座り方、もたれ方、すなわち『シャマーイル』の第 8 章から第 22 章である。アッラーこそが最もよくご存じである。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

『聖クルアーン』ウスマーン版本文、三田了一訳『日亜対訳 聖クルアーン』。https://quran.com

イブン・カスィール『タフスィール・クルアーン・アズィーム』（イムラーン家章 3:164、フード章 11:112、部族連合章 33:40、ムハンマド章 47:19）。https://tafsir.app/ibn-katheer/11/112

『シャマーイル』とその注釈

ティルミズィー『シャマーイル・ムハンマディーヤ』第 1〜7 章（ハディース第 1〜54 番）、ズバイル・アリー・ザイーの判定付き。https://sunnah.com/shamail

ムッラー・アリー・カーリー『ジャムウ・ル＝ワサーイル・フィー・シャルフ・ッ＝シャマーイル』、イブラーヒーム・バージューリー『マワーヒブ・ラドゥニーヤ・アラー・ッ＝シャマーイル・ル＝ムハンマディーヤ』。

ムハンマド・ナースィルッディーン・アルバーニー『ムフタサル・シャマーイル・ムハンマディーヤ』。

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』168、190、295、2028、3462、3540、3547、3552、3558、3803、5897。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』167、268、2020、2102、2336、2339、2344、2345、2346、2347。https://sunnah.com/muslim

『ジャーミウ・ティルミズィー』2811、3297、3629、3637、『スナン・アビー・ダーウード』3878、4159、4191、4202。https://sunnah.com

伝記

ザハビー『スィヤル・アアラーム・ヌバラーゥ』（ティルミズィーの伝記）、イブン・ハジャル『タフズィーブ・タフズィーブ』。

Wikipedia, “Al-Tirmidhi”. https://en.wikipedia.org/wiki/Al-Tirmidhi

Wikipedia, “Shama’il Muhammadiyah”. https://en.wikipedia.org/wiki/Shama%27il_Muhammadiyah

支援と寄付

この電子書籍は、ムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売されるものではありません。**研究、ウェブサイト quranscience.my の運営、今後の電子書籍の出版の費用のためのご寄付を心より歓迎いたします。ただし寄付は**義務ではありません。**アッラーがすべてのご寄付を、絶えることのない施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば，ちょうど 1 粒が 7 穂を付け，1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に，倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

日本語訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。「本当にわたしの主は，そのしもべの中から御心に適う者に，御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。」

日本語訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒ﷺは言われた。「施しは財産を減らさない。アッラーは、赦す僕に尊厳しか増し加えられない。そして、アッラーのためにへりくだる者は誰であれ、アッラーがその位を高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ, クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه .

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・礼儀の書（キターブ・ル＝ビッル・ワ・ッ＝スィラ・ワ・ル＝アダブ）、赦しと謙虚さの奨励の章、ハディース第 2588 番。

判定： サヒーフ ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

日本語訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によると、アッラーの使徒ﷺは言われた。「人が死ぬと、その行いは途絶える。ただし三つを除いて。絶えることのない施し、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・イブン・アイユーブ, クタイバ・イブン・サイード と アリー・イブン・フジュル ← イスマーイール・イブン・ジャアファル ← アラーゥ・イブン・アブドゥッラフマーン ← その父 アブドゥッラフマーン・イブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه .

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書（キターブ・ル＝ワスィーヤ）、死後に人に届く報いの章、ハディース第 1631 番。

判定： サヒーフ ― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

ソース：https://sunnah.com/muslim:1631

Jazakumullahu Khairan Kathira



上の QR コード（DuitNow、マレーシア）を読み取ってご寄付ください。

DONATE

海外からのご寄付：DONATE ボタンをクリックするか、次をご覧ください
paypal.me/quranscience